

# 福井県感染症発生動向調査速報

<<平成18年>>

<週報> 第18週 (平成18年5月1日～5月7日)

発行日：平成18年5月10日

発行：福井県健康福祉部健康増進課  
福井県衛生環境研究センター  
kansen@erc.pref.fukui.jp

## 注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎220名(10.0名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎42名(1.91名) 咽頭結膜熱39名(1.77名) 水痘33名(1.50名) 流行性角結膜炎2名(0.67名) ( )内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(220名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(42名) 咽頭結膜熱(39名) 水痘(33名) インフルエンザ(14名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は220名です。定点当たり患者報告数は減少しました(12.68名 10.0名)。地域別にみると福井地区22.86名、二州地区5.33名、丹南地区4.6名、奥越地区4.5名、若狭地区2.5名、坂井地区2.33名の順となっています。
4. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は42名です。定点当たり患者報告数は減少しました(3.14名 1.91名)。地域別にみると奥越地区9.5名、二州地区2.33名、丹南地区1.4名、福井地区1.29名の順となっています。
5. 【咽頭結膜熱】報告数は39名です。定点当たりの報告数は増加しました(1.27名 1.77名)。地域別にみると二州地区3.67名、丹南地区3.2名、福井地区1.43名、奥越地区1.0名の順となっています。
6. 【水痘】報告数は33名です。定点当たりの患者報告数は減少しました(1.95名 1.50名)。地域別にみると福井地区2.57名、奥越地区2.0名、丹南地区1.8名、若狭地区0.5名、坂井0.33名の順となっています。

## 感染症週報全国版の要点

2006年第15週号(4月10日～4月16日)要点

発生動向総覧	<第15週> マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い/その他最新動向 <3月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について
注目すべき感染症	<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎> 2006年は1996年以降の過去10年間と比較して、最も報告の多い状態が続いている
病原体情報	冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2005/06シーズン / インフルエンザウイルス2005/06シーズン
速報	<今週は該当記事はありません>
海外感染症情報	中国での鳥インフルエンザ流行状況 / インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況 / エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況 / フランス本土におけるチクングニヤの輸入例、2005年4月～2006年2月 / 航空機旅行における流行性耳下腺炎への曝露、米国2006年4月
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
全国版の要点は、5月10日現在で最新のものです。

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:報告はありませんでした。
- 3類感染症:報告はありませんでした。
- 4類感染症:報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)]		平成18年 第18週				平成18年5月1日(月)~平成18年5月7日(日)				
定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(17週)
インフル インザ (32)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	10 0.91		4 1				14 0.44	28 0.88	4010 0.97
小児科 (22)	RSウイルス感 染症						4 0.8	4 0.18	2 0.09	154 0.05
	咽頭結膜熱	10 1.43		11 3.67		2 1	16 3.2	39 1.77	28 1.27	1504 0.53
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	9 1.29		7 2.33		19 9.5	7 1.4	42 1.91	69 3.14	6351 2.23
	感染性胃腸炎	160 22.86	7 2.33	16 5.33	5 2.5	9 4.5	23 4.6	220 10.00	279 12.68	18964 6.67
	水痘	18 2.57	1 0.33		1 0.5	4 2	9 1.8	33 1.50	43 1.95	6299 2.22
	手足口病	1 0.14					1 0.2	2 0.09	9 0.41	498 0.18
	伝染性紅斑	1 0.14						1 0.05	2 0.09	1311 0.46
	突発性発しん	3 0.43				1 0.5	2 0.4	6 0.27	11 0.50	1701 0.60
	百日咳									36 0.01
	風しん									13 0.0
	ヘルパンギー ナ						3 0.6	3 0.14	7 0.32	466 0.16
	麻しん(成人麻し んを除く)									12 0.0
流行性耳下腺 炎	5 0.71		1 0.33			1 0.2	7 0.32	7 0.32	3338 1.17	
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎									17 0.03
	流行性角結膜 炎	2 1						2 0.67	1 0	487 0.83
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									6 0.01
	無菌性髄膜炎									9 0.02
	マイコプラズマ肺 炎	1 0.5						1 0.17		150 0.36
	クラミジア肺炎(オム 病は除く)									6 0.01
	成人麻しん									2

インフルエンザは、小児科定点+内科定点  
細字は定点当たり患者数  
(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。